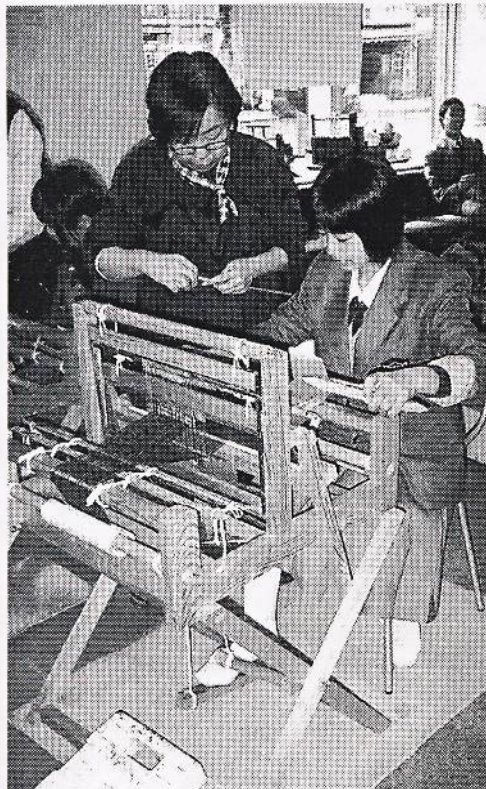


# 歴史のまち 中2が探訪記

## 足利学校や鏝阿寺：鋭い観察力

### 埼玉の中学、校外学習



埼玉県川口市の市立戸塚西中の生徒たちが、「歴史のまち」足利市の寺社や遺跡などを探訪した様子をつづった記録文集「あしかが通信」ができた。校外学習の一環だが、生徒らの鋭い観察力とユニークな視点に、協力した足利市の関係者も「地元の足利っ子でも、ここまででは調べきれないほど」と驚き、喜んだ。市と足利商工会議所は「足利の名を広めてくれた」として21日午後、同校を訪ね、感謝状と記念の盾を贈る。

(滑川照夫)

完成した記録文集は、1月8日付のあしかが通信第1号から3月24日の最終号までの計50号を一冊にまとめた。当時の2年生7学級のほぼ全員が237人が参加して足利探訪した2月19日を挟んで、古都・足利について事前に調べたこと、生徒たちが現地取材、体験したこと、帰ってから追加調査したことを書きつづった。

同校の校外学習担当で、通

信つくりの仕掛け人だった町田和夫教諭(45)の話では、学習対象として神奈川県鎌倉市や栃木市なども視察。「国史跡足利学校や鏝阿寺を抱える歴史があり、2500人からの大勢の生徒たちが歩いて観察できる適当なエリアとして足利に決めた」と言う。

通信第1号は「足利市って？」と市の概要を説明。以下、班別の編成決定や川口市から足利市への交通ルートの設定、取材の見どころとほぼ毎日、特集を組んで号を重ねた。通信に盛り込む企画内容や足利探訪のルールの取り決めなどは、学年委員会の2年生たちが集まってその都度協議し、決定した。

2月19日当日。班ごとに足利市駅などに到着した生徒たちは、交通費込みで1人4千円の予算で探訪開始。神社仏閣を見学したり、お土産品の

2月19日の探訪旅行で、機織りを体験した生徒たち。足利市のまちなか遊学館、埼玉県川口市立戸塚西中提供

内容を調べたり、思い思いに活動した。

旅行後の第32号では、取材先の人気ベストテンを生徒たちが選んで発表。1位は縁結びが関心を呼んだ「足利織姫神社」だった。観察記録や感想文も多数盛り込まれた。

通信の基礎データは、町田教諭が事前に下見した際の資料や撮影写真、足利市のホームページからの引用であって、生徒の原稿などを同教諭がパソコンを使って夜なべ仕事で編集したという。

町田教諭は「生徒たちには意義深い校外活動になったと思う。室町時代の礎を築いた足利に触れ、将来何かの役に立てば」と語る。

一方、足利市側で生徒たちの取材に協力した和田昇三・足利工大教授は「出来上がった通信をいただき、他県の中学生在がよくここまで調べたと感動した。足利に関心を持ち、支えてくれるこうした動きを市内の子どもたちにも伝えたい」と話す。